

# 公共事業再評価調書

担当部課室名	県土整備部 河川砂防課	電話番号	0 1 7 - 734 - 9663
		E - MAIL	kasensabo @ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 ( 年 )	再評価後 ( 5 年 )	その他 ( )
---------	-----	------------	--------------	---------

## 1 事業概要

事業種別	河川改修事業	事業主体	県	市町村	その他 ( )		
事業名	平川広域基幹河川改修事業	地区名等	-	市町村名	弘前市、尾上町、平賀町、大鰐町		
事業方法	国庫補助 県単独	財源・負担区分	国 50%	県 50%	市町村 % その他 %		
採択年度	昭和 2 1 年度 (用地着手 S 2 1 年度 / 工事着手 S 2 1 年度)						
終了予定年度	平成 3 3 年度 ( 年 月計画変更 当初計画時 年度 )						
事業目的	自然環境の保全に配慮しながら河川の改修工事を行い、平川沿川の人家や田畑を洪水被害から守る。						
主な内容	全体改修延長：1 5, 8 0 0 m ( 平川工区 14, 300m、引座川工区 1, 500m ) ・築堤、掘削：15, 800m ・道路橋架替え：8 橋 ・鉄道橋架替え：3 橋 ・取水堰：2 基						
事業費	再評価時総事業費 12,950 百万円 (単位:百万円)						
		~ 12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	小 計	16 年度 ~ 合 計
	計 画 (うち用地費)	( )	( )	( )	( )	9,883 ( 1,566 )	3,067 ( 486 ) 12,950 ( 2,052 )
	実 績 (うち用地費)	6,615 ( 1,431 )	314 ( 30 )	160 ( 0 )	100 ( 0 )	7,189 ( 1,461 )	5,761 ( 591 ) 12,950 ( 2,052 )

## 2 評価指標及び項目別評価

### (1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)		計画全体に対する進捗	55.5 % [ / ]	年次計画に対する進捗	72.7 % [ / ]
			(うち用地費)	( 71.2 % ) [ / ]	( 93.3 % ) [ / ]	
	主要工種毎割合 (事業費)	築堤工 (2,678百万円)	延長割合	69.4 %	延長割合	92.1 %
		掘削工 (1,125百万円)	延長割合	25.9 %	延長割合	34.0 %
		道路橋 (1,429.5百万円)	箇所数割合	62.5 %	箇所数割合	81.9 %
取水堰 (772.9百万円)		箇所数割合	100.0 %	箇所数割合	131.0 %	
説明	・河党内掘削工の進捗率は低いが、平川本川の築堤は概成しており、流下能力は計画に対し下流部(1,700m <sup>3</sup> /S)で100%、中流部で85%、上流部(1,050m <sup>3</sup> /S)で60%程度が確保されており、本事業は計画通り進んでいる。 ・今後は、上流部の大鰐町区間の流下能力の向上を目指し計画的に改修を進め、平川本川の改修が概成した段階で引座川工区に着手する。					
問題点・解決見込み	-					
事業効果発現状況	計画規模(1/40)を目指し、全区間にわたり段階的な治水安全度の向上を図っており、浸水被害の軽減が図られている。					

### (2) 社会経済情勢の変化

(A) ・ B ・ C

社会的評価	全国・本県における評価	<p>[全国の評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年の異常気象により、全国各地で局地的豪雨による氾濫被害が発生しており、これら河川の災害対策及び治水安全度の向上が急務となっている。</li> <li>近年の河川環境に配慮した河川整備に対する関心の高まりに対し、自然環境に配慮した河川整備が求められている。</li> </ul>	<p>[県内の評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内の河川の整備率は約32%と東北6県平均41%に比べ立ち後れており、毎年、各地で浸水被害が発生していることから、今後とも整備率向上に向け積極的に河川改修事業を進めていく必要がある。</li> <li>地域住民の水辺環境への関心は高く、自然環境に配慮した多自然型川づくりによる整備が求められている。</li> </ul>	
	当地区における評価	<p>・これまでの改修工事により下流から中流部では、計画に対し85%以上の流下能力が確保されている。 ・しかしながら、上流部では60%程度と未だ低く、人家連担部をかかえる上流部(大鰐町)の流下能力を向上させる必要がある。</p>		
必要性	<p>・平川は一級河川であるが、本事業区間は国直轄管理区間外で、河川管理者は県であることから、事業主体は青森県である。 ・想定氾濫区域内には約2,800人が居住し、想定氾濫被害額は約77百万円と見込まれる。 ・これまでの改修により、段階的に治水安全度は向上してきたが、S50年8月、S52年8月と甚大な浸水被害が発生した。 ・このため、計画規模1/40(40年に1回発生するような大雨)とする本事業を今後とも計画的に進めていく必要がある。</p>			(a) ・ b
適時性	<p>・大雨による浸水被害が県内各地で発生しており、平川沿川においてもS50年8月、S52年8月と甚大な浸水被害が発生した。 ・下流部は概成しているが、中流部の流下能力は計画高水流量1,700m<sup>3</sup>/Sに対し85%、上流部では計画高水流量1,050m<sup>3</sup>/Sに対し60%と未だに低い。 ・現在、防御する人家が多い平川工区の改修を重点的に進めているが、引座川工区は、本川工区が概成した段階で着工する計画である。</p>			(a) ・ b
地元の推進体制等	<p>・平川工区の用地買収は86%がこれまでに完了しており、地権者や地域住民は本事業の主旨や目的を十分理解していただいており、事業は円滑に進んでいる。</p>			(a) ・ b
効率性	-			

## (3) 費用対効果分析の要因変化

(A) ・ B ・ C

区分	主な項目	再評価時	再々評価時	増減
費用項目 (C)	(1) 建設費	27,162 百万円	29,865 百万円	2,703 百万円
	(2) 維持費	3,423 百万円	3,774 百万円	351 百万円
	(3) 残存価値	-250 百万円	-293 百万円	43 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	30,335 百万円	33,346 百万円	3,011 百万円
便益項目 (B)	(1) 治水	83,199 百万円	96,762 百万円	13,563 百万円
	(2)	百万円	百万円	0 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総便益	83,199 百万円	96,762 百万円	13,563 百万円
B / C		2.74	2.90	
【費用対効果分析手法】 (分析手法、根拠マニュアル等) 治水経済調査マニュアル(案) : H12.5 【費用対効果分析における特記事項】 -				

## (4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A) ・ B ・ C

コスト縮減	<p>【コスト縮減の検討状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>従来の方法では、隣接する既設2橋をそれぞれ架替えるところを、大鰐町や地域住民の協力により、2橋を統合し架替えたことにより、約500百万円のコスト縮減を図った。</li> <li>河道内の掘削土を築堤に流用することにより、コスト縮減を図っている。</li> <li>管理用通路に再生採石を使用し、経費の節減を図っている。</li> </ul>	(a) ・ b
代替案	<p>【代替案の検討状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>洪水を一時的に貯留するダム、遊水地を代替案として検討した。</li> <li>ダム案：既の上流には2基のダムがあり、これ以上ダム適地はない。</li> <li>遊水地：2～3個の遊水地を必要とし、広大な水田が喪失するため、社会経済に及ぼす影響が大き過ぎる。</li> </ul>	(a) ・ b

## (5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A) ・ B ・ C

住民ニーズの把握状況	<p>【住民ニーズの把握方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区毎に工事説明会や用地説明会を開催し、地区住民の意見を聞くと共に、個別の用地交渉の場においても住民の要望等を把握している。</li> </ul>	<p>【住民ニーズ・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平川は一次改修済みで、大規模な拡幅がないため、工事の実施時期についての質問や改修促進に対する要望が多い。</li> </ul>	(a) ・ b
環境影響への配慮	<p>【地域別環境配慮指針への対応】</p> <p>(1) 地域区分 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">T4c</span></p> <p>(2) 対応状況 配慮している 配慮していない</p> <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>寄り州や水際線を残す等、河川が本来有している生物の良好な生育環境や自然景観の保全に努め、河道内の掘削等を必要とする場合でも、従前の姿に可能な限り復元する。</li> </ul>	<p>【開発事業等における環境配慮指針への対応】</p> <p>配慮している 配慮していない</p>	(a) ・ b
地域の立地特性	-		

## 3 対応方針

総合評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	近年、局地的豪雨等による甚大な浸水被害が県内各地で発生している状況から、平川沿川住民の生命財産を洪水被害から守る本事業は、継続して実施する必要がある。			
備考				

## 4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき		
委員会評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見				
評価理由				